

FIVE ELEMENTS for “WEEKENDERS” / 堀込泰行(キリンジ)編

Sub-Text by MIZUMOTO akira

1.プレイボール

ちばあきおが1972年から月刊少年ジャンプに連載していた青春野球マンガ「キャプテン」の人気を受け、週刊少年ジャンプで並行連載したスピンオフ作品。「キャプテン」の主演、谷口タカオが墨谷高校に進学、彼の高校野球を舞台にした活躍が描かれている。作者のちばあきおは「あしたのジョー」などで知られるちばてつやの実弟。兄のアシスタントをしながら描き上げた100ページの読み切り作品が、完成まで一年半もかかるなど、本来、非常に遅筆の作家であり、完璧主義者であった。そのため、長期連載のストレスなどから心の病を発症。1984年、自ら命を絶った。

zau Books



プレイボール
(文庫版).

2.ハーフ

ハーフ・・・すなわち、宮沢りえや加藤ローサ、土屋アンナに太田莉菜・・・ではなく、サッカーのポジションとしてのハーフ。小・中学生の頃、堀込泰行氏が入団していた少年サッカーチームにおける、彼のポジション。

攻撃陣の二列目・・・FW(フォワード)に対し、二列目にあたるポジションが俗にハーフと呼ばれている。敵ゴールに向かって左が左ハーフ、右が右ハーフ、真ん中はセンターハーフ。ただし現在ではMF(ミッドフィルダー)と呼ぶことが一般的。サイドに上がって、ゴール前にクロスボールを放り込んだり、ラストパスを出したり、密集からのこぼれ球をミドルシュートしたりと、現代サッカーではもっとも重要なポジションとされる。

3.ブルー・インパルス

航空自衛隊の広報活動を目的に編成された、アクロバット飛行のスペシャルチーム。正式には宮城県松島基地の第4航空団に所属する第11飛行隊。全国各地で開催されている航空祭などでアクロバット飛行を披露しており、「青と白にカラーリングされた6機の機体が、大空で展開する一糸乱れぬフォーメーション、そしてダイナミックなソロ演技 次から次へ繰り広げられる驚異のパフォーマンスは、初めて観る人にとっては驚きの連続に違いありません(ブルー・インパルス広報HPより)」。

4.ブライアン・エプスタインの仕事

ブライアン・エプスタインは同性愛者であることから英国陸軍を除隊されたのち、父親が経営する家具屋のレコード売場で働いていた。ビートルズとの出会いに関しては諸説あるが、地元リバプールの音楽雑誌でコラムも執筆していた彼は、ひと目でグループの才能を見抜き、1961年にマネージメント契約。印象的な衣装、髪型、ステージマナーなど、彼のさまざまなアドバイスによってビートルズは世界的なバンドへと大きく成長した。1967年に32歳の若さでこの世を去った直後、メンバー同士の対立が表面化。彼の死はビートルズの解散要因とされている。

ビートルズ以外にもチャド&ジェレミーやサークル(命名ジョン・レノン)など、いわゆるソフトロック系の名グループも手がけている。

zau Records



ネオン/
サークル



ビフォー・アンド
アフター/チャド
&ジェレミー



アイ・ドント・
ウォナ・ルー
ズ・ユー・ベイ
ビー/チャド&
ジェレミー



遠い渚/
チャド&
ジェレミー

5.バーデン・パウエル/サラヴァ

アントニオ・カルロス・ジョビンやジョアン・ジルベルトなどと共に、ブラジル音楽を世界に知らしめたギタープレイヤー/作曲家。1937年生まれ。幼少の頃はバイオリンを習っていたが、4才の頃にギターへ転向。19才の時に作った「Samba Triste」が大ヒットし、ブラジル国内での人気を不動のものにした。詩人であり外交官でもあったヴィニシウス・ヂ・モライス(「おいしい水」や「イパネマの娘」作詞)に帯同し、一年間のパリ生活を経験。一旦はブラジルに帰国するも、60年代後半、ふたたび活動拠点をヨーロッパに移した。また、モライスからの紹介で知り合ったピエール・バルーと共に、クロード・ルルーシュの映画「男と女」へ楽曲を提供。

ブラジルの土着的な奏法「ショーロ」を元に確立した、バーデンのギター奏法は一言で云うとアグレッシヴ。1966年発表のアルバム「トリスターザ・オン・ギター」に収録された「Sarava(サラヴァ)」も、バーデンらしい強烈なギター演奏を堪能できる。ちなみに「サラヴァ」は「あなたに神の祝福がありますように」という意味。

zau Records



トリスターザ・
オン・ギター /
バーデン・パウ
エル